【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第２区分
【発行日】平成20年12月4日(2008.12.4)

【公表番号】特表2008-518914(P2008-518914A)
【公表日】平成20年6月5日(2008.6.5)
【年通号数】公開・登録公報2008-022
【出願番号】特願2007-539060(P2007-539060)
【国際特許分類】
Ａ６１Ｋ　31/167　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　31/522　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　31/616　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　47/02　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　9/20　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　9/48　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　29/00　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　25/04　(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ６１Ｋ　31/167
Ａ６１Ｋ　31/522
Ａ６１Ｋ　31/616
Ａ６１Ｋ　47/02
Ａ６１Ｋ　9/20
Ａ６１Ｋ　9/48
Ａ６１Ｐ　29/00
Ａ６１Ｐ　25/04

【手続補正書】
【提出日】平成20年10月15日(2008.10.15)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
鎮痛／解熱有効量のアセチルサリチル酸、アセトアミノフェンおよびカフェインと、鎮痛／解熱活性の鎮痛／解熱発現を速める量の少なくとも１種のアルカリ性物質(該アルカリ性物質は炭酸カルシウム、水酸化マグネシウム、炭酸マグネシウム、酸化マグネシウムおよびこれらの混合物から選択される)を含む、鎮痛／解熱組成物。
【請求項２】
該アルカリ性物質が炭酸カルシウムである、請求項１記載の組成物。
【請求項３】
該アルカリ性物質が炭酸カルシウムおよび水酸化マグネシウムの混合物である、請求項１記載の組成物。
【請求項４】
該アルカリ性物質が炭酸カルシウム、炭酸マグネシウムおよび酸化マグネシウムの混合物である、請求項１記載の組成物。
【請求項５】
アセチルサリチル酸、アセトアミノフェン、カフェイン、炭酸カルシウム、クエン酸、

リン酸ナトリウム、およびデンプンから成る、請求項１記載の鎮痛／解熱組成物。
【請求項６】
水酸化マグネシウムをさらに含む、請求項５記載の鎮痛／解熱組成物。
【請求項７】
２５０mgのアセチルサリチル酸、２５０mgのアセトアミノフェン、６５mgのカフェイン、４３mgの炭酸カルシウム、７５mgの水酸化マグネシウム、５mgのクエン酸、および５mgのリン酸ナトリウムから成る、請求項１記載の鎮痛／解熱組成物。
【請求項８】
２５mg～２.５ｇのアセチルサリチル酸、２５mg～２ｇのアセトアミノフェン、５mg～５００mgのカフェインおよび２５mg～２.５ｇの少なくとも１種のアルカリ性物質(該アルカリ性物質は炭酸カルシウム、水酸化マグネシウム、炭酸マグネシウム、酸化マグネシウムおよびこれらの混合物から選択される)を含む、鎮痛／解熱単位投与形態。
【請求項９】
８１mg～１ｇのアセチルサリチル酸、１００mg～１ｇのアセトアミノフェン、１５mg～２５０mgのカフェインおよび５０mg～１ｇの少なくとも１種のアルカリ性物質(該アルカリ性物質は炭酸カルシウム、水酸化マグネシウム、炭酸マグネシウム、酸化マグネシウムおよびこれらの混合物から選択される)を含む、鎮痛／解熱単位投与形態。
【請求項１０】
１５０mg～５００mgのアセチルサリチル酸、１５０mg～５００mgのアセトアミノフェン、３０mg～１５０mgのカフェインおよび７５mg～５００mgの少なくとも１種のアルカリ性物質(該アルカリ性物質は炭酸カルシウム、水酸化マグネシウム、炭酸マグネシウム、酸化マグネシウムおよびこれらの混合物から選択される)を含む、鎮痛／解熱単位投与形態。
【請求項１１】
２５０mgのアスピリン、２５０mgのアセトアミノフェン、６５mgのカフェインおよび１００mg～３００mgの少なくとも１種のアルカリ性物質(該アルカリ性物質は炭酸カルシウム、水酸化マグネシウム、炭酸マグネシウム、酸化マグネシウムおよびこれらの混合物から選択される)を含む、鎮痛／単位投与形態。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００２２
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００２２】
用い得るアルカリ性物質の例は、一般的に胃酸を中和するために用いられる制酸剤または制酸剤の混合物、例えば炭酸カルシウム、炭酸マグネシウム、重炭酸ナトリウム、炭酸ナトリウム、重炭酸カリウム、水酸化アルミニウム、酸化アルミニウム、酸化マグネシウム、水酸化マグネシウム、三ケイ酸マグネシウム、グリシン酸アルミニウム、ジヒドロキシアルミニウム酢酸またはこれらの任意の混合物を含み得るが、これらに限定されない。
【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００２３
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００２３】
一つの態様において、該アルカリ性物質は、炭酸カルシウム、水酸化マグネシウム、炭酸マグネシウム、酸化マグネシウム、およびこれらの混合物から選択される。